

中央大学学会 第25号 49年白門会会報

発行日 平成24年12月1日(年2回発行)
発行人 山崎 厚太
発行所 中央大学学会49年白門会
印刷所 (有)東光美術印刷

東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学駿河台記念館学会事務局

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49会のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス → hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。

CONTENTS

- 1ページ ★フェイスブックとの関わり 山崎司平
- 2ページ ★2012年度総会議案報告
- 3ページ ★2012年度総会・懇親会レポート
- 4ページ ★会員からのエッセー「今〇〇〇に夢中です」★ホームカミングデー
- 6ページ ★友へのメッセージ 柴田明 ★楽苦我喜 葛西聖司
- 7ページ ★ちょっと役立つアラカン写真講座 高橋和幸
★真夏のカラオケパーティー 三橋克美 ★事業部掲示板
- 8ページ ★49同期GOLF会 ★会費納入のお願い
★本所防災館体験レポート ★編集後記

「妻と次女が一泊旅行に出かけました。今夜はドク身だー」と私の書き込みについて、「いいね」と反応した人が、なんと26名。私の書き込みに対する最多数の反応でした。私が悪さをしに街に繰り出すだろうとニヤリとしたのか、妻と次女が旅行に行くのを微笑ましいと思ったのか、彼等は、どんな理由で「いいね」と反応したのか、悩んでしまいました。ヨーロッパで、フェイスブック・FBの呼びかけで自然発生的に多数の人が集まり、大きなデモになったという報道がありました。60歳を迎えたときに、友人の女医さんがFBをしていると聞いて、先のデモのこともあって、FBを始めて2年余が過ぎました。若い人が多いだろうと思っていましたが、それなりの年齢の人もFBを楽しんでいます。私



(題字・葛西聖司)

フェイスブックとの関わり

49年白門会副会長 山崎 司平

の依頼者は満78歳ですが、FBで妻と草津温泉に行ったよ」等と報告してくれまして。これには直ぐに「いいね！」です。もっとも、彼とFB繋がりにしているのは、娘や孫娘達を中心に、私と事務所の担当弁護士を含めても、彼の友達に15人に留まっています。でも、孫娘にFBで近況報告を出来るのは、素敵だとは思いませんか？

現在進行形の依頼者は、妻子とは別居中ですが、長女とはFB繋がりのため、精神的交流をすることも彼女の近況を把握しています。一般的に、別居している妻は夫を毛嫌いするので、母親と同居している娘は母親の前で父親のことは話せません。でも娘がFBに近況報告を載せると、父親は自然な形で娘の動向を知ることが出来るのです。

FB繋がりで近況報告

私のFBの使い方は、パソコンを立ち上げたときにチョコッとFBにアクセスして、友人の近況報告を見ると、一般的な(?)ものですね。友人の近況報告を見るのは、実は、本当に面白い。49会のメンバーではありませんが、中大の友人が高知に移住しました。これまでは、わ

ざわざ電話をして、「今、どうしてる？私、今は、どうのこうの...」と、身構えて話す必要がありました。FB繋がりになると、高知にいる友人の近況報告を見ることが、「ああ、元気なんだな」と安心することが出来るのです。富山の甥ともFB繋がりますが、行事の写真等をFBに載せてくれることもあるので、郷里の現状を容易に知ることが出来ます。自分のコラムを紹介して、法律的な話題を提供してくれる若い弁護士もいます。FBを見ているときの私は、ニコニコしています。FBは、知り合いの名前を見つけて「友達リクエスト」を送信して「友達のリクエスト」を返信して、私と49会の仲間は大竹編集長・高橋和幸カメラン・千葉幸嗣氏・藤本真也氏の4人しか繋がっていません。この中で、高橋氏のFBへの投稿数は、半端ではありません。然も、彼の友達の数も、半端ではなく、なんと二千名超!! 私は今時点でも百名強なので、高橋さんは、実に私の20倍の人と繋がっているんです!!

FBの使い方は様々なようですが、悪口を書くことと確実に「名誉毀損罪」になると思われまので、これだけは御用心、です(笑)。

【49年白門会2012年総会】

2012年7月7日(土)に12年度の総会が御茶ノ水の駿河台記念館で開かれました。5つの議案は全員の拍手で承認され、新しく梅田真人氏が新役員に就任しました。

■第1号議案

2011年度事業活動報告

- 1・各行事
 - (1)2011年7月2日(土) 総会・懇親会 (中央大学駿河台記念館「プリオール」：出席者数35名)
 - (2)2011年8月6日(土) ビアパーティー・カラオケ大会 (シダックス新宿歌舞伎町クラブ：出席者数14名)
 - (3)2011年11月12日(土) 東京タワー見学 (東京タワー：出席者数20名)
 - (4)2012年1月28日(土) 新年会 (銀座レストラン Sunmi高松：出席者数34名・2次会を含めて)
 - (5)2012年3月10日(土) サントリービール工場見学 (サントリービール武蔵野工場：出席者数18名)
- 2・中央大学49年白門会会報の発行
 - ・第22号・2011年6月4日(土)
 - ・第23号・2011年12月3日(土)
- 3・中央大学49年白門会役員会活動
 - ・第68回・2011年4月9日(土)
 - ・第69回・2011年6月4日(土)
 - ・第70回・2011年9月10日(土)
 - ・第71回・2011年12月3日(土)
 - ・第72回・2012年2月4日(土)
- 4・会員数
 - ・会員総数(277名)
 - ・2011年度新入会員数(3名)

■第2号議案 2011年度収支決算報告について(2011年4月1日～2012年3月31日)

〈収入の部〉		(単位：円)	〈支出の部〉		(単位：円)
費用	決算額	概要	費用	決算額	概要
会費収入	339,000	会費(3千円×104名)・入会金(1千円×3名) 複数年分会費(21千円) 過年度分会費(3千円×1名)	通信費	96,320	行事案内等発送費(76,480円)・後納郵便料、切手代他
懇親会収入	380,000	総会(5千円×34名) 新年会(6千円×35名)	事業費	158,550	会報制作費(第22号・第23号)
雑収入	113,185	125周年募金活動補助費 学員会支部活動支援強化補助費他 (5万円)2次会残金、預貯金利息等	懇親会費	384,220	総会パーティー費(181,600円)、新年会費(202,620円)
収入計	832,185		事務費	0	
			交際費	38,000	125周年寄付金、学員時報広告費他
			雑費	19,119	郵便振替等振込手数料、インターネット代他
			支出計	696,209	
			収支差額	135,976	
			前年度繰越金	727,361	
			次年度繰越金	863,337	

■第4号議案

2012年度収支予算案

(2012年4月1日～2013年3月31日)

〈収入の部〉 (単位：円)

費用目	決算額
会費収入	320,000
懇親会収入	360,000
雑収入	50,000
収入の部合計	730,000

〈支出の部〉

費用目	決算額
通信費	100,000
事業費	180,000
懇親会費	360,000
事務費	60,000
交際接待費	30,000
雑費	110,000
支出計	840,000
収支差額	▲110,000
前年度繰越金	863,337
次年度繰越金	753,337

- (1)「本所防災館見学」
- (2)「高天禮火くゴシレフア錦糸町店」
- (3)「総会」
- (4)「中央大学駿河台記念館「プリオール」」
- (5)「2012年7月7日(土)」
- (6)「カラオケナイトパーティー」
- (7)「シダックス 新宿歌舞伎町クラブ」
- (8)「2012年8月4日(土)」
- (9)「第21回中央大学ホームカミングデー」
- (10)「2012年10月28日(日)」
- (11)「葛飾柴又散策」
- (12)「2012年11月10日(土)」

■第3号議案

2012年度事業計画案

- 1・中央大学49年白門会 事業計画案
- ・会員相互の親睦・交流、会の組織強化、中央大学および学員会他支部との交流を図るための活動を行う。
- (1)親睦会・懇親会等の開催と各種同好会活動の実施
- (2)会員名簿・会報の発行
- (3)新規会員の勧誘
- (4)中央大学学員会他支部との交流

■第5号議案

2012年度役員案

- | | |
|------------|------------|
| 会長 | 山崎厚太(経) 再任 |
| 副会長 | 葛西聖司(法) 再任 |
| 幹事長 | 山崎司平(法) 再任 |
| 副幹事長 | 宮川保(経) 再任 |
| | 中島章夫(経) 再任 |
| 広報部長 | 大竹力三(法) 再任 |
| 事業部長 | 小澤秀敏(経) 再任 |
| 会計部長 | 原伸正(経) 再任 |
| 益田耕二(法) 再任 | |
| 高橋和幸(法) 再任 | |
| 石川晶雄(経) 再任 | |
| 梅田真人(経) 新任 | |
| 柴田明(理) 再任 | |
| 渡邊秀和(文) 再任 | |
| 大谷洋一(法) 再任 | |
| 藤本真也(法) 再任 | |
| 安藤正幸(経) 再任 | |

60代に入った同期会だから 「49年白門会」にも変化が!!

12年度の総会・懇親会には、還暦を過ぎて益々エネルギーが充実してきました。東日本大震災から1年以上たちましたが、学生時代の輝きを失っていない姿が有りました。皆さん自信を持って生き抜いています。これからが第二の人生です。

新役員に 梅田真人氏を選出

七夕の日、例年通り7月最初の土曜日に「49年白門会」の総会が開か



れました。梅雨空で小雨が時々降っていたが蒸し暑さを感じない陽気でした。場所は御茶ノ水の中央大学駿河台記念館にあるレストラン「プリオール」。定刻の12時に28名の出席者で総会が始まりました。

山崎会長の挨拶に続き、議長として大竹広報部長を選出し審議が始まりました。小澤事業部長が急遽欠席になり、事業部活動報告と事業計画案は中島幹事長から報告、説明をしていただきました。2011年度の収支決算報告と2012年度予算案は原会計部長が報告と説明をし、大谷会計監事が2011年度の会計監査報告をされました。4つの議案とも出席者の拍手により承認されました。

今回の総会は役員改選期でもあり、宮川選挙管理委員長から梅田真人氏の立候補届けがあったことが報告され、梅田氏の新任を拍手で承認されました。総会は約30分で終了。

乾杯の音頭を 3回!

同じ場所で懇親会が開かれました。乾杯の発声は、山口県柳井市から参加の松村年郎さん。松村さんの

元気いっぱいの発声は、12年前の設立総会で学生時代応援部だったというので締めをエールをやっていただいた事を思い出しました。12時半過ぎからの懇親会で丁度ランチタイム。昼間のアルコールは酔いが早く回るようで、あちこちで元気なおしゃべりと笑い声が聞こえてきます。料理も質・量とも十分で30分もしたらお腹一杯の様子でした。

開始から30分経って山崎副会長が到着。時間を間違えたという事で、挨拶代わりに2度目の乾杯の音頭を取っていただきました。またその10分後に福松さんが到着。「乾杯は何度やってもいいもんだ」という話になり、福松さんにも3度目の乾杯の音頭を取っていただきました。出席者リストに載っていた人はこれで全員集合したことになります。

今回の総会には、山口県の松村さんをはじめ、岩手県の吉江さん、新潟県の松平さん、愛知県の加納さん、栃木県の日高さんと遠路はるばる参加された方が多い会となりました。盛岡でホテル勤務の吉江さんからは、昨年の東日本大震災のことに触れられ、義援金もありがたいがとにかく現地に来て欲しい、というお話がありました。

お酒を飲めるのが 健康の証明

女性の参加者は井さんと小泉さんのお二人。井さんは、母親が足を骨折して入院したが病院内で元気でいる話から始まり、近所の男性が女性より早く亡くなっている、自分の周りには元気な女性がめだつこと、さらに健康には運動、食事等に注意するように食品名まで挙げて説明し、同期の男性を励まして(?)くれました。小泉さんも、ご主人が3月に定年になってからのその後の二人での生活を話していただきました。

全員が還暦を迎えていますので話題は年金、病気、介護、孫、定年、再雇用などが中心でした。懇親会に来てお酒を飲めることが元気の証明なのかもしれません。

2時間の歓談の時間もあっという間に終わり、校歌・応援歌の斉唱が始まりました。今回はいつも参加されているカメラマンの高橋さんも、校歌・応援歌のリーダー・小澤さんも欠席で、いつもと違う雰囲気の中での終盤でしたが、山崎司平副会長がしっかりと3本締めで締めお開き



になりました。懇親会終了後の2時半過ぎに近くの居酒屋で2次会が開かれ10名近くが参加しました。この時間からやっているお店もすごいですが、またまた元気に飲めるアラカンの同期達もすごいです。こうして七夕の幸せな一日が終わって行くのでした。(広報部) 3

会員からのエッセー

「今〇〇〇〇に夢中です」を語る

会員の皆様には昔からの趣味が有ると思います。また退職したり孫ができたりと新たな趣味みたくに夢中になっていることもほほほちびでてる。おじいと思ひます。そんな今夢中になっている事の声をお届けします。

介 護

山根 信正 (法) 埼玉県 所沢市

その不幸は突然訪れ、改めて残された時間の組み直しを考えざるをえない事態に直面している。今年3月87歳になる母が脳梗塞で倒れ、入院生活も既に半年以上に及んでいる。

今でも直接口から食事を摂ることが叶わず、鼻から栄養チューブを入られ、動かすことができる左手にチューブを抜かないように大きな手袋を着けられて病院のベッドに横たわっている。声掛けをすると微かな反応はあるもののごまかを理解し、何がわからないのかが判然としない状態にある。

後期高齢者が一般病棟に91日以上入院すると90日までの患者の入院基本料より低い後期高齢者特定入院基本料で算定され、点数が最大3分の2に引き下げられ医療機関の負担となるので、脳梗塞や認知症等の病気で入院した場合、例外なく3ヵ月で退院を求められる制度になっているため転院を繰り返し、既に入院先は3つ目の病院である。

私は昭和45年に大学進学のため両親

親を残して住み慣れた広島を離れ、昭和49年に社会人になり、サラリーマンとして37年間の殆どを東京で過ごした。その間に両親は高齢となり、

今まで想像もしていなかった介護の生活、保険の手続、紙おむつの手配そして一人暮らしを余儀なくされることになった92歳の父の身の回りの世話のため埼玉と広島を往來する生活が続いている。

今まで馴染みの無かった介護の問題に戸惑いながらも永年両親が健康であることに甘えておぼろげにしてきた親孝行が出来る機会に恵まれたことに感謝しながら、年輩いた両親に寄り添う生活に明け暮れている。

「道の駅」巡り

大谷 洋一 (法) 東京都 武蔵野市

「今、〇〇に夢中」というテーマで原稿依頼が無い込みました。「無iyaなあ、そんなもん」と眩いたら、家人から「あるじゃない、道の駅巡りがー」。実は、以前からドライブは好きだったので、やはり目的がなくて「ハリ」がありませんでした。そんな時「道の駅」に出合い

ました。

皆さんはご存知でしょうか。「道の駅」は主に幹線道路沿いに造られていて、休憩場所の提供、地域情報の発信、地域特産物販売などを行っている施設です。全国に約1000か所、関東地方でも約100か所あります。地方、特に茨城、栃木、群馬県は道がよく整備されていて、交差点も少なく、ほとんど車の通らない農道でもしっかりと舗装されています。

そのような道で快適なドライブを楽しむながら「道の駅」を目指します。で、行って何をするのか？ まずは、専用のスタンプ帳に「道の駅スタンプ」をパシッと押します。そして帰宅した後、帳面をめくりながら、ここは併設の温泉が熱くて浸かっていられたのか、ここは駐車場から眺めた山の稜線がすっきりとしていて油絵みたいだった、など思い出します。

と、ここまで書いた時、「でも、あなた、時々スタンプ帳、家に忘れて行くから、夢中」とまでは言えないわよね。」と厳しいコメントが。そう言われれば、確認して行かなかつたために、やっと迎っていた道の駅が休館日で閉まっていたり、

スタンプを見ても「あれ、ここはどこだっけ」と全く思い出せないこともあります。が、続けますよ。既に関東地方はほとんど制覇しましたから、やはり目標は1000か所と行きますよ。

江戸千家との出会い

加藤 正治 (法) 東京都 板橋区

昭和46年11月、白門茶会を三週間後に控えた寒い朝、一、二年生中心のメンバーは王子名主の滝先心亭に集まり、割稽古の準備のため忙しく立ち回っていた。炭点前、花活、掃除…

茶道はそれ程興味があった訳ではなく、ただ誘われるままに入会。当時、茶道会には表・裏・遠州として江戸の四流派があった。一年目は表千家にて、四谷の不審庵に通っていたが、厳格な作法に聊か閉口していた節があった。

二年目の春、幹事長から「加藤よ、悪いけど江戸に移ってこれないか」とのこと。江戸千家は江戸中期、表千家七代如心斎の高弟川上不自が、江戸に下って庶民に茶道を普及すべく開いた流派で、家元は歴代川上宗雪を名乗っていた。当時、先代家元が亡くなり、長男が宗雪を継いだものの、叔父の閑雪との間で後継者争い最中であった。一方、世間では学生運動の最盛期で、茶道会の主導権を革マル派が握り、音羽護

藤沢で白門会

澤田 英樹 (法) 神奈川県 藤沢市

国寺であった関東大学茶道連合の茶会で「家元制度粉砕」を叫び、江戸千家閑雪派なら除名・茶道会での活動再開を小生に託された格好でした。唯一の先輩が用意してくれた南大塚のアパートの一室で、可愛い後輩達と共に割稽古に励み、慶応大を卒業して間もない宗雪家元の上野池之端の道場でも月一回のお稽古が許可となり、思いの外茶道漬けの学生生活が始まった次第。

私が、地元の藤沢で白門会活動に入ったきっかけは、私たち49卒の招待年であった99年（H11年）のホームカミングデーに大学へ行ったことでした。ちょうど高3で受験期の我が娘とその友人の3人で大学へ行き、校内をみて回ったのです。確か体育館でレセプションがあったように思いますが、会場真ん中辺のテーブルに青い幟を何本も立てて立食している異様な集団があり、その幟に藤沢白門会と書いてあったので、思わず声をかけたから引きずり込まれてしまったというのが実情です。現在は、週に2〜3回の割りりで打合せやら行事があり、まさにあり地獄のです。藤沢の良いところは、当たり前ですが先輩・後輩が分け隔てなくお付き合いができること。それと日頃の行事の度に会員が少額

の募金を行い、その浄財で車椅子を購入して市の社会福祉協議会へ贈呈してあげよう。もう20台になります。

また、もう一つの特徴は、市内にある15の大学同窓会やSUUC(湘南ユニバーシティクラブ)と呼ぶ交流会を持ち、懇親を深めるだけでなく、市民向けの講演会などを開催して社会貢献活動を行っていることです。それやこれやらで、仕事もしているので、白門会活動を含め毎日忙殺されているというのが近況です。

この状態が良いのかどうかは受け取り方次第ですが、これも私に与えられた使命かなと勝手に感じている昨今です。同窓の皆さん、藤沢にお越しの際は声をかけていただければ美味しいお店へご案内しますよ。

減量

馬場 安德(法) 千葉県我孫子市

今年5月末に入会しました馬場です。よろしくお願いたします。

ただ今、護衛艦あきづきの甲板で一筆したためています。と書いています。本日(10月14日)白衛隊観艦式(艦艇40隻・航空機33機)に参加。横須賀港を8時に出航し昼過ぎ、祝砲発射・潜水艦浮上・P3C対潜爆弾投下・救難飛行艇の離着水etcの訓練展示を堪能する予定ですが、それまで時間はたっぷりあるので、「減量」をテーマに書いてみました。

昨年、体重が十キロ増加したため3月末の定年退職を契機に一発奮起し、無理をしないで十キロの減量を目指し次の3点を実践しています。○雨天を除き毎朝5キロラン！

実際は5月に膝をいためラン&ウォークに。○食事の軽量化・野菜中心に！特に、7月は炭水化物を一切口にしないで1ヶ月三キロ減を達成しました。

○ストレスをためずエンジョイを！4月から職につかず、月2の麻雀月1の宴席カラオケ、学友との九州4泊や東北5泊の旅行、そして当会主催のレク(防災館・柴又散策)等に積極的に参加しています。

成果については、次回皆様とお会いするときのお楽しみに……現在七キロ減の六八キロに至りました。

今後は残り三キロ落とし、夏には3回目の剣岳への山行を実行したいと思えます。5年前の酒沢から奥穂北穂の山行以来になりますが、この「夢」のためにこれからも健康的減量に励みますので、皆様方の応援よろしくお願いたします。



神 繁司(法) 千葉県浦安市

人生とは、夢や幻想が醒めていく過程だと言う。還暦の心痛い贈り物ほかの大震災、寓居も東京から最も近い被災地となった。爾来、無為徒

食の日々。辛うじて、職の纏めとして『移民ヒストリアグラフィ』(ク

ロスカルチャー出版、二〇一七)を刊行できたのが幸い。顧みれば、砂場の磁石の如く、纏わりついた、まさに多数の蹉跌。こつこつばかりもいられない。「人生の仕舞文庫！」

生前整理は案外と楽しい。忘れていた記憶と失われた時間を蘇らせてくれる。私の場合、遺産相続とか三行半とか難しい法律問題はなさそう

だ。単なるモノの整理だ。はやり断捨離とは全く無縁なのが難儀の種か。整理すべきモノは大別して本と音源。諸兄御存じのように、これが一進一退、楽しいと同時に案外難しい。本は、津軽・新浦安・江古川・大分に四散。まずは、古本屋の仕切り場たる自室から始めざるを得ない。テーマ毎に配架する以前の問題

である。本のクリーニングである。重度喫煙者たる証左を本は見事正直に留めている。加つるに積年の埃埃は掃除機が一瞬にして吸い取ってくれるが、滲みは取れない。難題は今や珈琲色に化した紫煙の痕跡だ。

ビニールコーティング表紙には襟垢用のベンジン、紙表紙には消しゴムを使う。だがしかし、次から次へと関連書に読み耽るから一向に捗らず、一日十冊程が限度。これでは生前整理どころか、チリ紙交換行きが関の山。求む！古書整理法である。荒畑寒村『谷中村滅亡史』再読、何と変わらぬこの国の在り様である。どうか、『福島原発設置反対運動裁判

資料』の原稿督促メール着信です…

INSOJI

石川 敏行(法) 東京都渋谷区

今回、原稿のご依頼を頂いた機会に、「幽霊会員」の罪滅ぼしに、二つの「〇〇に夢中」について述べる。

一つ目は、無我夢中である。学部を卒業して大学院に進学後、法学部助手に採用。以来、助教授・教授と2004(平成16)年までの28年間を無我夢中で過ごした。その後、同年4月に法科大学院が開設されたのを機に、市ヶ谷キャンパスに移籍した(第2の人生)。ローでの日々は初めての事だらけ故に、またまた無我夢中で過ごすことに。

そうこうするうち、市ヶ谷での6年目の終わりに、運輸安全委員会国土交通省)という所から、転職のお話を頂いた。不安もあったが、2年半前に転職を決断し、還暦目前に第3の人生」を始めた。

当委員会の職務は、航空・鉄道・船舶の事故等が起きた際に、その原因を究明し、再発を防止するところにある。私は「法制担当委員」なので、委員長とともに、3つのモード全てに出席する。最初は、法律用語とは全く違う工学系の専門用語に戸惑い、意味を理解するのに苦労した。どこまで行っても、無我夢中は続く。

あと半年で、一期目の任期が切れる。私のポストは国会同意を要する特別職人事なので、政治情勢次第では、再任されるかどうかは分からない。よって、二つ目の「〇〇に夢中」は五里霧中である。公務員給与もあっと言う間に10%カットされ、霞ヶ関の先行き自体が五里霧中ではあるが、御陰様で元気に毎日を通して頂いている。

ホーム
カミングデー 2012年
10月28日(日)

3年ぶりに開催された第21回ホームカミングデー。あいにくの小雨模様だったが、開会の2時間前の8時には中島幹事長がメイン会場のテーブル4つを確保。その後、小澤事業部長など役員が49会場のほりを立て、集合の目印の準備を終了。

10時過ぎから三々五々集まった同期は約30人。遠くはドイツ、宮崎、愛知、新潟から酒や肴までのお土産を持って参加された会員もいらした。会員でない同期も4名来られた。テーブルでは、常時12、3人が持参の酒や肴、模擬店で購入した焼き鳥などで大宴会。抽選会では岡田さんが自動掃除機のレンバをゲット。中大グッズを購入すると付いてくる福引抽選券では2万円の商品券やディズニールンドペアチケット、福袋などが当たった方も数名おられた。

久しぶりに来た多摩キャンパスだったが、あいにくの雨で散策することはできなかったのが残念。次回は秋晴れの下での再会を約して4時前には解散。(広報部)

友へのメッセージ

六十の手習いもグローバル化

柴田 明(理工) 東京都 杉並区

最近、日本の企業も国際化が進み、社内の共通語を英語にする企業が話題になり始めました。私の回りにも仕事で海外へ転勤して、最近日本へ帰ってきた人、子供の時アメリカやシンガポールで生活していたバイリンガルの人、国際結婚をして

いる人等、ここ20年位の間国際化がどんどん進んでいるのだと感じさせられます。

最近、日本も高齢化が進み認知症等の人が300万人を超えたとか。60才を過ぎ何か目的を持って日々の生活を送る事が必要ではないかと思ひ、頭を使い記憶力を維持するのに英会話を続ける事で頭の老化を遅らせるのではと期待しているのですが？

私が以前勤務していた会社はアメリカ、イギリス、オーストラリア、イタリアの会社と光ファイバー技術の關係で交流があり、約4年程でしたが外国の技術者や営業マンが来社した時や海外出張での会議は英語を使う環境で仕事をしていました。その会社を約20年前に退社し、その後英語を使う事はなかったのですが、再度英語に挑戦したくなり、3〜4年前よりインターネット上の英語番組で興味有りそうな物を見つけて聞くようになり、喋る機会がないと上達しないと思ひ英語のサークルに入ってみました。

特に私の場合、典型的理系人間。経済や政治等の基本が弱いのでその辺を話題にされると英語の問題というより内容がわからない事が多く、その反対に他のメンバーより科学技術分野に関するテーマでのディスカッションは得意。最近では自分の持分がはっきりしてきた様に思います。

しかし、最近、単語が出てこない現象が、テレビを見ていて俳優や歌手の顔は判るが名前が出てこない、あの人やあれやこれという言葉が増えてきた。記憶力を維持するのは難しいと感じている人も多いのではと思ひますが、皆さんはどうですか？

入会して2年位経った今、余裕はないが何とかついていっている。入会して良かったのは英語の単語力が付いた事と日々の国内外のニュースを正確に知ろうとする習慣がついたこと。それと、日本に興味のある外国人から思ひもよらない質問が、その説明の為、日本の事をより幅広く知る必要性を感じる様に

なりました。また、インターネットという便利なツールが発達し、日本にいながらにして色々な海外の放送が聞けるので、楽しみながら、勉強というよりは自分の趣味として続けて行ければと考えています。



20年前オーストラリアに出張した時、柴田明さんと張氏夫婦、右端が柴田明さん

楽苦我喜 葛西聖司(法)

葛西聖司(法) 東京都 練馬区

新しい名刺

去年三月、退職し肩書を悩みながら名刺を作った。適当な職業が思いつかない。一番つけたくないのは、「元」。もちろん、以前勤務したところの印象が強いので、「元NHKアナウンサー」と表記する人が多いが、やるからには「現役」なので「元」と自らは名乗るまいと頑固に思った。また、その範疇以外の仕事も多い。手取り早いのは「大学講師」とか「著述業」というのもある。また、文化行事の企画や舞台の演出や構成を引き受けることもある。つまりは何でも屋。困って、「肩書なし」を選択することにした。結果、さまざまな機会に出会える「老後」となった。

民放の番組にゲスト出演した時は楽しめた。それは「司会をしなくもいい」「放送時間も司会者におまかせ」。深夜番組に出く、放送局が違うのか聴取者のびっくりツイッターが始まった。でもあった。かつては集中講義だった甲府の大学に、毎週、通うことに。いままでも気づかなかつた風景や、果樹園での成長を目の当たりにした。後期は都内の大学。桜並木の色づきと落ち葉の感触も味わっている。それはタクシー利用をやめ、駅から歩くことを始めたから出会えたのだ。歩くといえは、「腹を引っ込める」「大股にする」。毎回ではない、気づいたら少しだけ実行。階段ではなくエスカレーター歩行も実施。足元を見つめ、一歩一歩、腰を上げたり、つま先を上げたり。効果なんか気にしない。自己満足で。

呑気そうだが、先の知れないフリー人生。49会の新年会や、お誘いは欠席続きで恥ずかしい。それは、みなさんの休日が就労時間ゆえ。今年の初体験は「書評」。産経新聞から橋本治氏の新著について依頼された。事務所なし。マネージャーなしの人生に「・・・」してみませんか？ 思いがけない手紙や電話で新たな人生が・・・。一所懸命歩いている人がいたら、わたしかもしれませんよ。

ちょっと役立つ
アラカン
写真講座



「雰囲気の良い写真を撮る」

これから皆さんは御自分の趣味のバンドとか、奥さんの日本舞踊の舞台とか、孫のピアノ発表会のような時に写真を撮る機会があると思います。そんな時のテクニックをお教えいたします。雰囲気の良い写真を撮って奥さんに惚れなわされたり、孫たちから「さすががあ〜」と尊敬されたりすること間違いなしです。

舞台とかの屋内写真はほとんどが暗い中で条件が悪い撮影となります。普通に撮れば、暗い写真とかブレブレの写真とかに仕上がります。

連載3回目の今回は、フラッシュ使用禁止の舞台や発表会、いかに雰囲気のある写真を撮るかのテクニックを伝授いたします。記念すべき晴れ舞台を上手に撮って満点ジジィハハ〜!

カメラマン 高橋 和幸(法)

そこでの一番の解決策は、カメラに付いているセッティングの中にISO感度というのがあります。この感度を最高の3200にします。なければ最大の数字まで上げます。外の光が強い所では100とか200が良いのですが、室内のような暗い所での撮影では感度を最大限まで上げる必要があります。



① ストロボを使った雰囲気のない写真



② シャッター速度が遅いブレた写真



③ 雰囲気のある良い写真

今回の親父バンドの撮影のように遅いと一層目立ちます。

照明を利かしたりする場合は、その場の雰囲気を生かせるようにします。演奏する人たちもうまい下手にかかわらず自分たちに酔っています。だからその雰囲気を壊してはならないのです。踊りの舞台、ピアノの発表会などもおそろしくフラッシュは使用できないはず。雰囲気を損なう上、ただですら緊張しているのにピカピカされたら一層マイナスになってしまいます。ですからここでもISO感度を上げてシャッター速度を上げ、フラッシュを使わないようにして撮影する。

その時の注意点は脇をしめて(現役の時に経験済みだと思えます。脇が甘いばかりに後輩に出世を越され奥さんにながらたてられたということなどにも似ています)カメラを固定し、ます人差し指で、軽く押さえる、これでピントが合います。そしてそっと押してやる。この行為を興奮せずに落ち着いて行うことです。

真夏のカラオケパーティー

2012年 三橋克美(法)
8月4日(土)

ロンドンオリンピックが真っ盛りの8月4日、「ビアパーティー・カラオケ大会」が今年も開催されました。場所は、昨年と同じ新宿歌舞伎町「シダックス」です。

定刻の12時には全員集合となり、会場の3階の部屋に向かいました。今年参加者が8名と昨年より少な

く、少し寂しい感じもしましたが、逆にその分歌える曲数が増えたと楽しティップに気持ちを切り替えて、皆張り切って席に着きました。

早速ビールを注文し、山崎会長の発声で乾杯。冷えたビールで喉を潤し、次々と出される料理を味わう内に待ちきれずにカラオケタイムに移行しました。

トップバッターは牧さんで、歌は

「すきま風」からスタートし、以降それぞれ順番に選曲しましたが、一巡目だけ全員の楽曲を紹介いたします。2番目は私(三橋)で「戦争を知らない子供たち」千葉さん「お久しぶりね」、山崎会長「じんじろげ」、石川さん「海は恋してる」、高橋さん「亜麻色の髪の乙女」、中島幹事長「積み木の部屋」、牧さんの奥様「雨の御堂筋」。

結局、歌った曲は全36曲で一人平均4〜5曲歌いました。因みにこの

こうして3時間が瞬く間に過ぎてしまいました。皆さん個性豊かであり、持ち味がそれぞれ異なるため、聴いていてもとても楽しく、また、各人が青春時代にタイムスリップして本当に楽しそうに熱唱したことから、大いに盛り上がる事ができました。歌の余韻が残る中、またまた歌い足りない人もいたようですが、次回での再会を約してそれぞれ帰路につきました。

事業部掲示板

新年会

例年どおり「Sun-mi高松」で行います。美味しい料理とお酒で楽しいひと時をお過ごしください。

日時 平成25年1月26日(土)
12:00〜14:00

場所 「Sun-mi高松」
東京都中央区銀座6-3-9
TEL 03-5568-3300
会費 6千円

ス・パ・リ・ソ・ー・ト・ハ・ワ・イ・ア・ン・ズ
(福島県) 一泊旅行

日時 平成25年3月9日(土)〜10日(日)
詳しくはHPやメールでお知らせいたします。

「本所防災館」体験レポート

2012年
5月26日(土)

錦糸町駅から東京スカイツリーに向かって歩くこと10分。本所消防署が見えてきてその隣が「本所防災館」だ。今日は49年白門会の「本所防災館体験ツアー」。10時15分に13名が集合。2組が夫婦での参加となった。まずは「防災シアター」でビデオを見る。3・11の大震災で何度も見たシーンが出てきた。あれから1年以上がたつてそろそろ記憶から遠の

●2012年度会費納入のお願い

49年白門会は会費によって運営されています。2012年度の会費をまだ未納の方は、納めてくださるようお願いいたします。2012年度の活動期間は2012年4月1日～2013年3月31日です。年会費3,000円、入会金1,000円です。

なお納入方法は、下のいずれかをお選びください。
①郵便振替 (同封の赤い枠の用紙を使えば手数料は49会が負担します。)

振替口座番号「00180-3-196081」

口座名称 「49年白門会」

②銀行振込 (振込手数料が必要です)
銀行名 三菱東京UFJ銀行日野市役所支店 普通預金「0569115」
口座名 49年白門会 代表 山崎厚太

●49年白門会事務局

*住所変更、新規会員紹介の御連絡、会報への御意見などをお寄せください。

49年白門会幹事長 中島章夫

192-0393 東京都八王子市東中野742-1
中央大学 映像言語メディアラボ事務局
Tel 042-674-2750 Fax 042-674-2753
E-mail akio@tamajs.chuo-u.ac.jp

※メールアドレスの登録・変更は
hakumon49@gakuinkai.com にご連絡ください。

編集 後記

ウイズ・エイジング

「60代、初めてきたが面白い」と言ってから既に3年。「アンチ・エイジング」の広告の多い中「ウイズ・エイジング」という考え方で年を取るのも悪くない。若者のように機敏な動作もできず感情の起伏も緩やかだけ、目的地までにはいつしか着いていく。そんな年相応な生き方は、耳も目も悪くなり落胆もするが、感受性とか心の平穏等は50代よりも豊

き始めた時に、刺激になった。

体験ツアーの最初は「消火体験コーナー」。全員が水を使った消火器での体験ができた。スクリーンに部屋から出火の様子が映し出される。「火事だーっ」と大声で叫び、消火器を運び、ピンを抜く、火の根元にホースを向け、レバーを握る。消火器の持ち方、使い方も、体験してみると何だかこんなに簡単なんだと実感。

次は「暴風雨体験コーナー」。長靴に完全防水のカップを着て部屋に入る。最初は大雨。カップを通して体に叩きつけられる雨が痛い。目も開けていられない。その後風速30メートルの風が吹く。30mの風だと物が飛んできてぶつかってると説明され、こんな日は外に出ないことが一番良いという知識を学んだ。

3番目が「煙体験コーナー」。煙が充滿している通路を避難口誘導灯を頼りに避難する体験だ。姿勢を低くして壁に手をつきながらハンカチなどで口をふさいで進むのが基本だ

かになったように感じる。

週休4日の勤務体制なのでスポーツジムには週に3日間通っている。無理をせずマイペースで約2時間の運動を続けていたら、体重がこの30年間で一番軽くなった。血圧も正常で腹筋も付きいつの間にかアンチ・エイジングの体型になっていた。

この会報の広報部会が終わった後7名でカラオケに行った。皆さんの

という。

最後は「地震体験コーナー」。震度7という地震の揺れを人工的に起こす。見るだけなら少し滑稽に見えるが、実際体験するとすごい。揺れが来てテーブルの下に潜るが何もできない。揺れは15秒くらいだが、気が付いたらテーブルの足にしがみついていた。張りぼてだから良い

第7回49年白門ゴルフ会

2012年
9月29日(土)

例年ならば秋の気配も感じられる9月の末、日本列島に向かって二つの大型の台風があった。埼玉県

の飯能パークカントリークラブの10番ホールに立並んだアラ還戦士たち13人。合戦の火蓋は高木部長のコースを熟知したコントロールドショットで落とされた。秋の空は高く、台風が間近に息を潜めているなど全く感じられないなか、綺麗な秋の白い雲が飯能の山並みに棚引き、爽やかな風に導かれながら13人は勝手気ままにバラバラにそれぞれ

ものの本物の家具が倒れてきたら大事になると恐怖感が押し寄せた。

近い将来、東京直下型、東海、東南海、南海地震が確実にやってきます。もしもの時の防災行動力を、楽しみながら体験・学習できる体験ツアーに、みなさんも是非参加して地震に自信(?)を持ってください。

(広報部)

れの白球を緑の大地に置いて散って行った。

午後には時折黒い雲が出てきたりはしたものの、風もなご穏やかな天候の中で49年白門会のゴルフ大会は激しい戦いの痕を残して幕を閉じた。成績発表の席上では遠路、宮崎県から毎回参加をして頂いている黒木さんから宮崎県の名産品であるみやざき地鶏炭火焼のお土産を頂戴した。皆大変お楽しみをしながらもいつも楽しみにしている逸品である。

選曲は「1970年代の歌」という項目で選んでいた。アンチ・エイジング(?)のAKB48の曲を歌ったら罵声を浴びせられたかもしれない。30歳の時僕が見た60代の人と、今の30歳の人が僕ら60代を見た時の感じって絶対違つ。僕らはまだ若いと見られ、僕ら自身も若いと自覚している。あと10年はウイズ・エイジングで過ごしても大丈夫だ。

(大竹 力三)

49年白門会の副会長の山崎司平さん眩々に「こうした平らな付き合いの出来る同期の会は美に味わい深いものだ。ウイズスキーのダブルに等しいものがある。」こんな気疲れのしないゴルフの会に貴方も参加してみても如何かな。高木部長の長年の願いが5組20人の参加による49年白門会ゴルフコンペ。来春は4月5日の金曜日開催を予定しております。

(広報部・小林隆昌)